

大阪体育学会第 63 回の報告と御礼

2025 年 3 月 8 日（土）、大阪体育学会第 63 回大会を「子どもの成長を育む運動・スポーツ」をテーマに、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスで開催しました。本大会は日本ラグビー学会第 18 回大会との合同開催となりました。日本ラグビー学会は前年の第 17 回大会において「少子化に伴う高校ラグビーの在り方について」をテーマに開催され、本大会のテーマにご賛同頂きました。また、大阪体育学会の新たな取り組みの一つとして、他学会との共同開催による学会活動の活性化を試みました。

基調講演には、日本体育大学の野井真吾教授をお招きし、「子どものからだと心が求める遊び」と題してご講演頂きました。世界中に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が、子どもの生活環境にどのような影響を与えたかについて、子どものからだと心・連絡会議や日本体育大学体育研究所の調査の結果から、子ども達がコロナ休校中に思うように外に出られなかったこと、友達に会えなかったことのストレスの影響の大きさなどが報告されました。

シンポジウムでは、「子どもの運動・スポーツにおける環境：現状、課題、展望」について、西南学院大学の秋武寛先生、兵庫県立兵庫工業高等学校の木下岳先生、元 MBS アナウンサーの赤木誠先生、西宮回生病院の吉矢晋一先生にご登壇頂きました。指定討論者である近畿大学の西田順一先生の質問に対して、各先生方の専門分野から子どもの身体活動の現状やスポーツのする子どもの体格や取り組みの変化などについて議論が交わされました。

一般研究発表は 9 題でした。スポーツバイオメカニクス、スポーツ心理学、体育科教育、スポーツマネジメントなどの研究分野から有意義な発表がなされました。また、学部学生による研究発表が 3 題あり、将来の学会員として本学会に入会して頂くきっかけとなって欲しいと思いました。

本大会が無事に終わることができましたのも、参加者および関係者の皆様のご協力あつてのことであり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。また、ご支援頂いた協賛企業の皆様には、厳しい社会情勢にも拘わらず、ご快諾頂いたことが本当に嬉しく、これまでの諸先輩方と協賛企業の皆様とのより良い関係性を痛感した次第です。そして、準備に多大なご尽力をいただいた実行委員会の皆様に心より御礼申し上げます。

本学会が今後、益々発展する事を祈念して、第 63 回の報告とさせていただきます。

大阪体育学会第 63 回大会大会長
溝畑潤（関西学院大学）